

12月9日(金)19時00分～  
オープニングイベントのご案内



my home town  
わたしのマチオモイ帖  
**News Release**

2016年11月28日

『わたしのマチオモイ帖』新作展覧会(入場無料)、12月9日スタート

今年のテーマは「おもいを届ける冬」

新設部門のポストカード作品を来場者に進呈、大切な人へメッセージを届けるきっかけを提供

熊本地震の避難所で活躍した間仕切り資材を会場設営に再利用。避難者・支援者のおもい、関西へ。

クリエイター(※)支援施設「クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町」(所在地:大阪市北区 所長:堂野 智史、以下メビック扇町)は、2016年12月9日(金)から2017年1月29日(日)まで、「my home town わたしのマチオモイ帖」展覧会を開催します(わたしのマチオモイ帖制作委員会と共催)。6回目となる今年は、「おもいを届ける冬」をテーマに、新作を中心に、新設のポストカード作品約150点を含む200作品以上を展示。来場者にはポストカード作品を進呈し、その場で来場者自身が大切な人へメッセージを書く場も設けます。また、会場設営には熊本地震の避難所で活躍した間仕切り資材『PPS4』を再利用。展示会初日には、実際に『PPS4』を避難所に届けたり、再利用活動を行うクリエイターなどを招き、トークイベントを開催します。(取材申込書添付・詳細参考資料参照)

※クリエイターとは、プロのデザイナー、写真家、イラストレーター、映像作家、コピーライター、編集者などを指します。

■東日本大震災をきっかけに始まったマチオモイ帖

「マチオモイ帖プロジェクトは、日本各地のクリエイターが、それぞれ思い入れのある町やそこに住む家族や周囲の人へのおもいを、冊子や映像に綴り、人々に届ける活動です。東日本大震災が発生し、誰もが足元を見つめ直した2011年に始まり、今では総作品数約1200帖にのぼります。2013年には新しい地域資源を発見するプロジェクトとして、グッドデザイン賞受賞。ゆうちょ銀行とのコラボでマチオモイカレンダーを6年連続制作するなど、その認知度は年々高まっています。

今年は新たに、ポストカード部門を設置。来場者に作品1枚を進呈することで、マチオモイ帖が、来場者自身の大切な人におもいを届けるきっかけになればと考えています。



2016年3月の展覧会の様子

■実際に熊本地震の避難者が過ごした居住空間も再現

会場設営には、今年4月の熊本地震の避難所で利用された間仕切り資材『PPS4』を再利用します。もとは世界的な建築家・坂茂氏が開発、被災地に届けられたものですが、役目を終えた資材を再利用しようと、地元クリエイターらが、熊本支援への感謝のおもいを込めて全国に届ける活動を行っています。今回、マチオモイ帖展覧会を通じて、避難者や支援者のおもいを関西にも届けようと会場設営の資材として採用。実際に避難者が過ごした1ユニット(2m x 2m)を再現し、来場者が、PPS4の居住空間や組み立てやすさを知る機会を創出します。



本件に関するメディアからのお問い合わせ先

クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町 広報担当:松井  
〒530-0025 大阪市北区扇町2-1-7 カンテレ扇町スクエア3F  
TEL:06-6316-8780(平日10:00~21:30) FAX:06-6316-8781 e-mail:info@mebic.com  
ホームページ: <http://www.mebic.com/>  
マチオモイ帖プロジェクトに関する詳細情報は、以下を参照ください。  
わたしのマチオモイ帖ホームページ <http://machiomoi.net/>

## ■「my home town わたしのマチオモイ帖-おもいを届ける冬-」概要(添付チラシ参照)

期間:2016年12月9日(金)~2017年1月29日(日)

平日:11:00~21:00 土日祝:11:00~19:00

年末年始の休み:12月26日(月)~1月5日(木)

会場:メビック扇町

入場料:無料

主催:大阪市

公益財団法人大阪市都市型産業振興センター クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町  
わたしのマチオモイ帖制作委員会

協賛:株式会社モリサワ

協力:熊本県大阪事務所 / 株式会社ナッシュスタジオ / 富士ゼロックス大阪株式会社 /

矢橋徹建築設計事務所 / 内海慎一

## ■オープニングイベント「熊本地震の避難所からおもいのバトンを大阪、そして全国へ」概要

(ぜひ、同展示会企画者や「マチオモイ帖作家」の生の声を取材ください)

日時:2016年12月9日(金) 19:00~21:30

会場:メビック扇町

参加費:オープニングトーク 無料(※要事前申込)

オープニングパーティー 1,000円(※要事前申込)

ゲスト:矢橋 徹さん(建築家/熊本)

伊藤憲吾さん(建築家/大分)

内海慎一さん(コミュニティデザイナー/広島)

たなかみのるさん(デザイナー/大分)

石川武志さん(グラフィックデザイナー/大阪)

「新町・アワザサーカス」ヤマモトヒロユキさん(大阪)

「尾鷲大漁旗リメイク雑貨FLYKI」タナカカツマサさん(三重)

「キツガワゴン」木津川市役所・マチオモイ部(京都)

「kumenan:kitchen」松本希子さん(大阪)+檀上祐樹さん(大阪)

進行:清水 珉行・村上美香(わたしのマチオモイ帖制作委員会)

## ■避難所用間仕切り資材『PPS4(Paper Partition System 4)』再利用の経緯

世界的な建築家 坂茂氏が考案した避難所用間仕切りシステムは、紙管と布で誰でも簡単に組み立てられるもので、カーテン布の開閉により避難所でもプライバシーを確保することができます。2011年の東日本大震災では、50ヶ所の避難所に1800ユニット(1ユニット=2m x 2m)の間仕切りシステムを坂氏が提供。本年の熊本地震発生時も提供されましたが、その後、避難所から仮設住宅に移り住む人が増えたことで、一定の役目を終えた紙管と布をリユースする話が浮上しました。熊本県の有志やデザイナーたちがプロジェクトチームを発足、先駆けとして、布をリユースした「のれん」を仮設住宅に贈る「PPS4+ NOREN project」がスタート。日本各地でのれんの作り手を募集し、メッセージと共に熊本に送り返してもらうもので、現在、300を超える作り手が集まっています。機を同じくして、紙管の再利用法も模索されていたところ、今回のマチオモイ帖展覧会の会場設営に活かされることになりました。

マチオモイ帖は、東日本大震災を機に「自分の足元にある町を見直してみよう」とスタートした展覧会です。今回は、熊本・大分の被災地をはじめ、一人ひとりが大切に想うマチやひとに「おもいを届ける」はじめての一步になる展覧会にしたいと考えています。



クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町 担当：松井行

FAX:06-6316-8781 e-mail:machiomoi@mebic.com

=====

2016年12月9日【金】19:00～

「my home town わたしのマチオモイ帖 -おもいを届ける冬-」

オープニングイベント

取材申込書

ご多忙とは存じますが、この機会にぜひ報道関係者の皆さまに、同展示会の企画者や作者の想いを取材いただければ幸いです。関係者一同、お待ちしております。

ご参加いただける方は、お手数ですが FAX もしくはメールにてお申込みをお願い申し上げます。

御社名	
所属・部署名	
媒体名	
お名前	
お電話番号	
メールアドレス	
ご人数	
ご同伴者様のお名前	
取材に関するご要望	